

基礎医学研究用途

CD 法 R-R インターバル解析プログラム (NoruPro Light Systems)

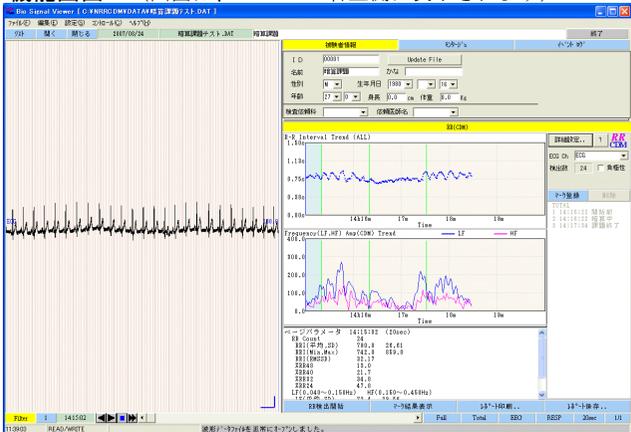
R-R Interval (CDM) Analysis



CD 法 R-R インターバル解析プログラム (R-R Interval (CDM) Analysis) は、判読リーダー (Bio Signal Viewer) にアドインして、心電波形 (あるいは脈波) の R-R インターバルを計測し、トレンド表示及び周波数解析を行い自律神経機能のレポートを作成するプログラムです。周波数解析には、Complex Demodulation (CD) 法を使用して従来の FFT 法や MemCalc 法では困難であった瞬時周波数振幅を計算し、LF 値、HF 値、LF/HF 値のトレンドを細かい時間分解能で求めることができます。

- 特徴
- Bio Signal Viewer のオプションソフトとして機能します。
 - 心電あるいは脈波波形 1 チャンネルの R 波を検出して R-R インターバルを検出します。
 - 検出レベルの自動設定及び追従設定により、R-R 検出精度を上げています。
 - 検出ミスのインターバル値を無効化して精度を上げることが可能です。
 - トレンドは、R-R トレンドと瞬時周波数振幅トレンドを同時表示が可能です。
 - 周波数解析は Complex Demodulation 法を使用して、LF、HF、及び LF/HF の瞬時振幅値を計測します。
 - トレンド表示と波形表示が連動しています。
 - マーク登録機能により、区間パラメータ比較が可能です。
 - 解析結果レポートを印刷できます。
 - R-R インターバルや CD 値情報をテキスト出力できます。マーク情報を付加することも可能です。
 - グラフィメージをファイル形式でクリップボード経由で他アプリケーションで利用できます。
 - 操作ヘルプが充実しています。

機能画面 (画面は、Viewer の右上側に表示されます)



レポート印刷

